

1

くらしの工夫

太郎さんは、家族で金沢市と京都市に旅行に行きました。二つの町で、同じような家が並んでいるようすを見かけました。

太郎 「昔の町みたいだね。」

お父さん 「これは、町家^{まちや}といって商売をするお店と住むところがいっしょになっている建物だよ。」

太郎 「どの家も奥^{おく}に細長い家だね。」

お父さん 「町家は、その形から『ウナギの寝床』^{ねどこ}とも呼ばれるんだよ。家の中をよく見てごらん、生活のための工夫がたくさんあるだろう。」

太郎 「家の中に小さな庭があるよ。通路もあるよ。どうして、このような建て方をしているのかな。」



写真1 金沢市の町家のようす

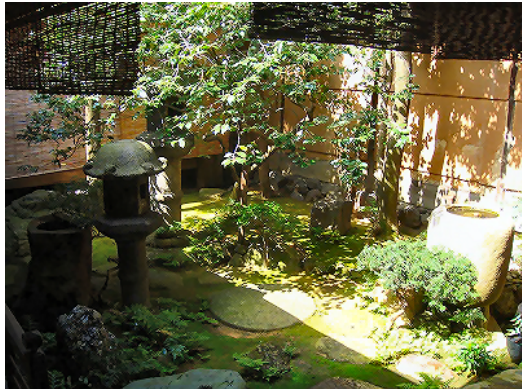
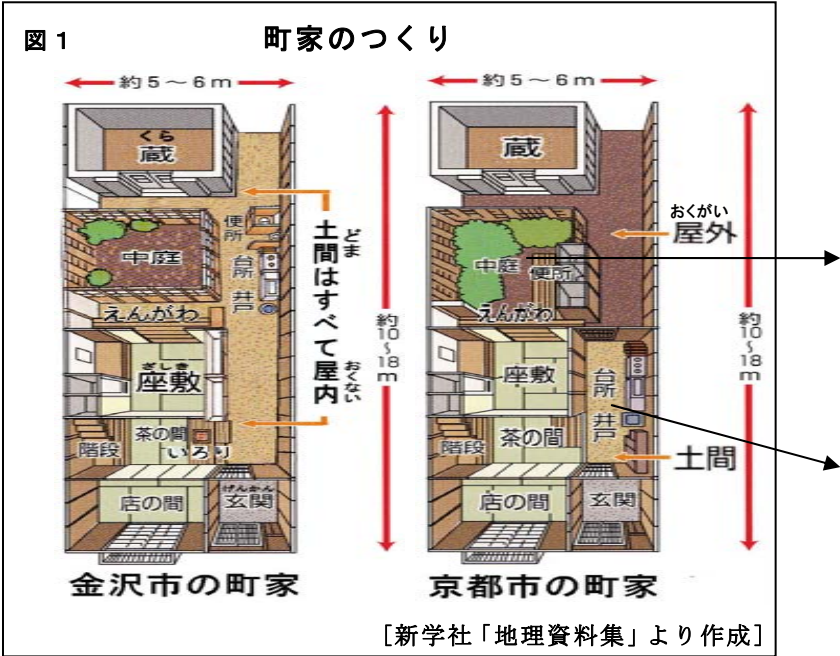
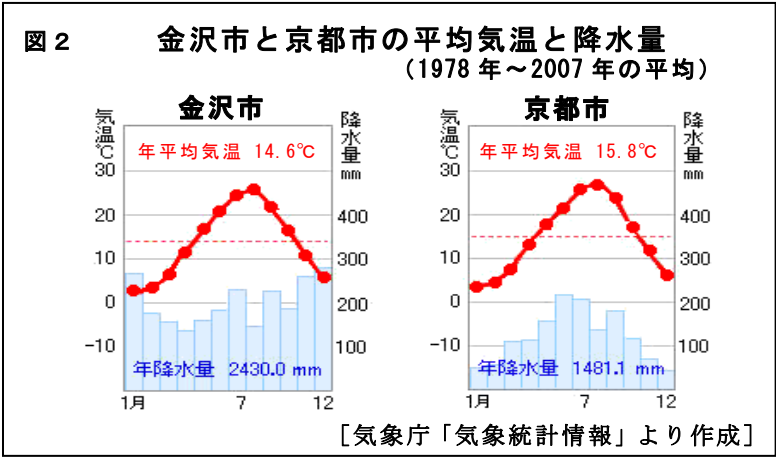


写真2 京都市の町家の中庭



写真3 京都市の町家の台所



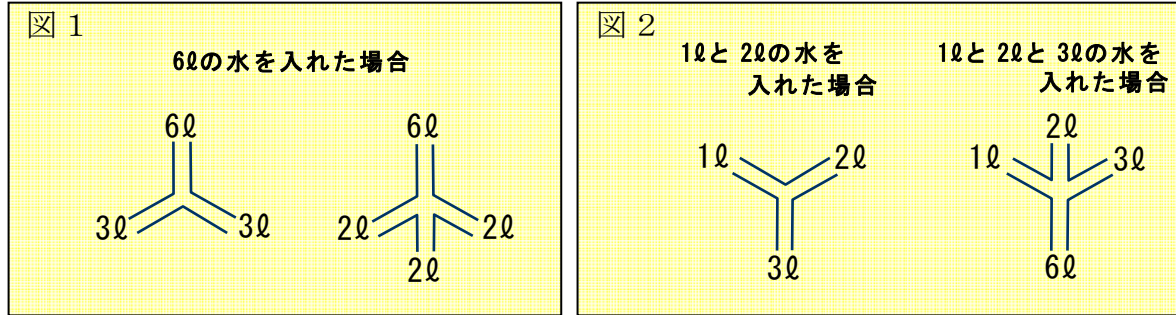
【問題1】 図1の町家のつくりに見られる生活のための工夫とその理由を、図2の金沢市と京都市の平均気温と降水量のグラフや写真1～3を参考に、できるだけたくさん書きなさい。

【問題2】 金沢市も京都市も、町家のような伝統的な町なみの保存に努めています。どのようなねらいで、昔の町なみを保存していると思いますか。あなたの考えを書きなさい。

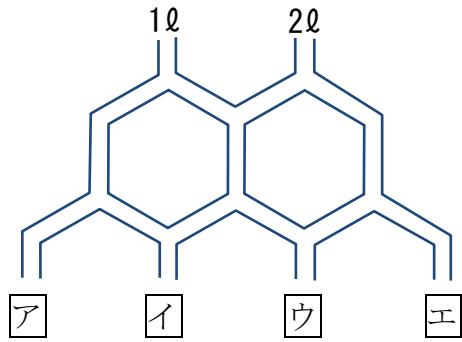
2 数を求めよう

【問題 1】 上から水を入れると下に流れる装置を作ります。図 1 のような装置は、上からの水が二等分または三等分されて下に流れます。

また、図 2 のような装置は、上から流れてきた水の合計が下に流れます。



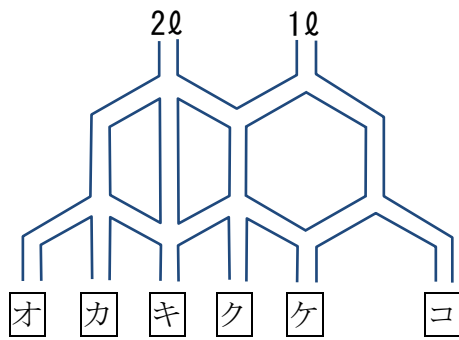
(1) 図1と図2の装置を組み合わせ、下の図のような装置を作りました。
上から1ℓと2ℓの水を入れたとき、ア～エに出る水の量を求めなさい。



ア れ イ れ

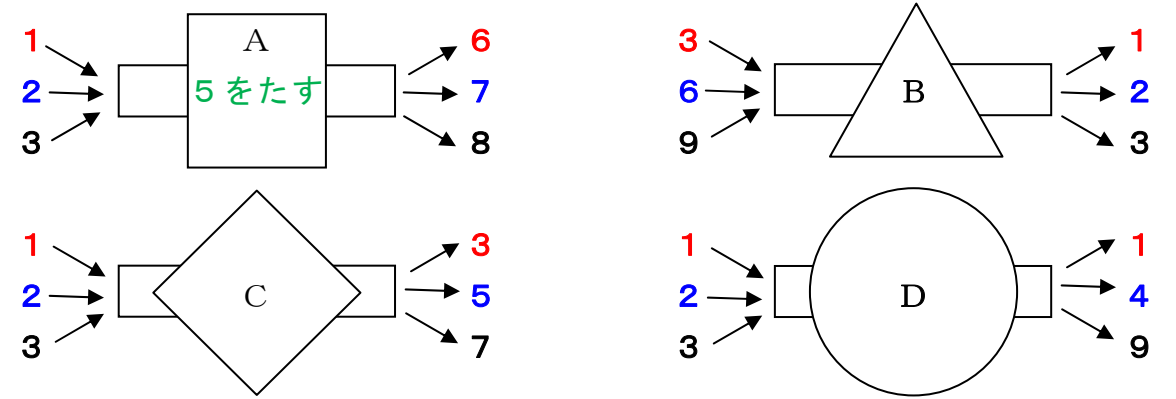
ウ れ エ れ

(2) 図1と図2の装置を組み合わせ、下の図のような装置を作りました。
上から2ℓと1ℓの水を入れたとき、オ～コに出る水の量を求めなさい。



才	ℓ	力	ℓ
キ	ℓ	ク	ℓ
ケ	ℓ	コ	ℓ

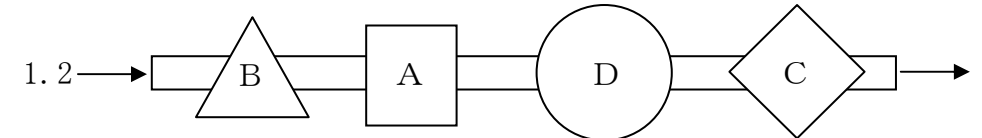
【問題 2】 それぞれの約束にしたがって計算をする A～D の箱があります。左からある数を入れると、その箱の約束の計算をして右から出てきます。例えば A の箱は、左から入れた数に 5 をたした数が右に出ています。



(1) 上のB, C, Dの箱は、どんな約束の計算をする箱か、説明しなさい。

B	C	D
---	---	---

(2) 上のA, B, C, Dの箱を下の図のようにつなげ、左から小数1.2を入れました。右から出る数を求めなさい。途中の式や計算もかきなさい。



(式や計算)

右から出る数

右から出る数

(3) 上の A, B, C, D の箱を並びかえて、左から 9 を入れると右から 65 が出ました。A ~ D をどのような順番で並べたのか、記号で答えなさい。

→

→

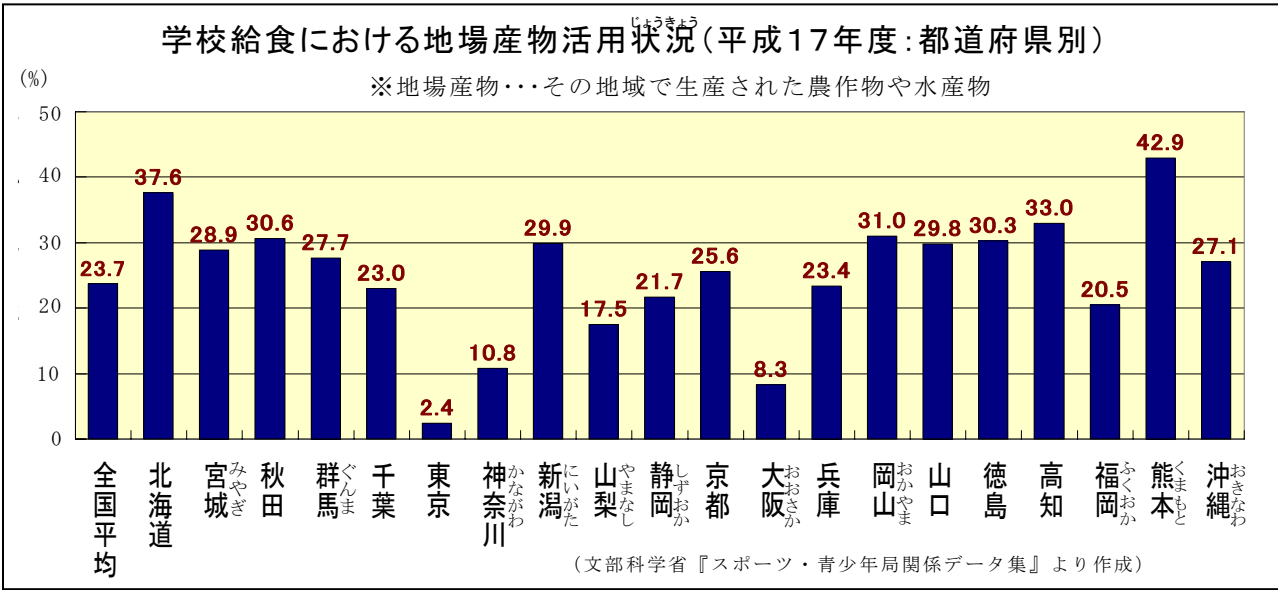
→

3

地域の食料について考えよう

太郎さんは11月のある日の給食の時間に、先生から、「今日の給食のご飯は、今年、地元でとれたばかりのお米ですよ。」と聞きました。太郎さんは、給食で使われるお米はもっと遠いところから運ばれてくるものだと思っていたので、とてもおどろきました。

次の日曜日、太郎さんは図書館へ出かけ、食べ物について書かれた本の中から下の興味深いグラフを見つけました。



【問題1】 上のグラフの各都道府県の状況を比べて、学校給食における地場産物の活用について、どのようなことが読み取れますか。人口、気候、産業、地形などにふれながら、あなたの考えたことを書きなさい。

【問題2】 最近、いろいろな地域で「地産地消」への呼びかけが行われています。「地産地消」の長所について、あなたの考えを理由もふくめてできるだけたくさん書きなさい。

※「地産地消」…地域生産地域消費の略。その地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費すること。

【問題3】 「地産地消」をさらに進めていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。生産者、食品加工業者、販売者、消費者の4つの立場から、あなたの考えを具体的に書きなさい。

4

自然の現象について考えよう

太郎さんは、夏休みに家族で琵琶湖の近くへキャンプに出かけました。夕食は、野外炊飯をすることになりました。夕食の準備をしていると、大きな雲が近づいてきてしだいに辺りが暗くなってきました。

太郎 「天気が悪くなってきたね。」
お父さん 「もうすぐ夕立^{ゆうだち}がくるから小屋の中に入ろう。」
太郎 「雨がやまなかったら外でご飯が食べられないね。」
お父さん 「夕立は、しばらくするとあがるからだいじょうぶだよ。」



国立天文台「理科オフィシャルサイト」より

【問題 1】 夕立は、晴れた夏の日の午後などに、激しい雨が短時間に降る現象です。夕立の起こる仕組みを、下の□の中の言葉をすべて使って説明しなさい。同じ言葉を何度使ってもかまいません。

空気

雲

雨

次の日、太郎さんたちは、湖へ出かけました。
太郎 「とても大きな湖だね。」
お父さん 「琵琶湖では冬になると、表面の水と深いところの水が入れかわっているんだよ。」
太郎 「どうやって水が入れかわるのかな。」



(社) びわ湖大津観光協会
ホームページより

【問題 2】 琵琶湖では冬になると、表面の水と深いところの水がどのような仕組みで入れかわっていると思いますか。あなたの考えを図や文章を用いて書きなさい。

【問題 3】 冬に琵琶湖の表面の水と深いところの水が入れかわる仕組みを、理科室で実験して調べることにします。あなたは、どのような実験方法で調べますか。図や文章を用いて書きなさい。

(実験方法)